

## 未経験からの決断 支援の存在が挑戦のカギ



トレーニングファームで  
培ったノウハウを  
生かしたいとご作り



いちご農家  
いけだ ともみ  
池田 智美さん  
(白石町)



**池田さん** 「育児と仕事の両立を考え  
たとき、農業なら時間の融通がきく  
と思ったんです。そう話す池田さんは、  
一児の母として子育てをしながら、2  
年前に会社員から「いちごさん」の農  
家に転身しました。就農にあたり勧め  
られたのが、いちごのトレーニング  
ファーム。「就農前に二から学べる環境  
があったのは大きかったですね」。工  
夫次第で収益をのばせることも背中  
を押してくれました。

いちごは、気温が低くなつてから果  
実のもととなる花芽<sup>はなめ</sup>をつける作物。し  
かし、昨今の猛暑で花芽の形成が遅  
れ、収穫が後ろ倒しになっています。  
その対策として今シーズンからは、苗  
を冷やして花芽を早くつける「株冷処  
理」に挑戦。これは、収益性が高い12月  
に安定的に出荷するための栽培技術

## 畑に立つという選択

農家の高齢化が進むなか、未経験ながら「畑に立つ」という選択をした若い人たちの  
姿が見られます。なぜ彼らはこの道を選び、どんな未来を描いているのでしょうか。  
今回は、新しく農業を始めた若手農家の想いに迫ります。



園地を継いで生まれた  
みかんリレー

**岩松さん** 鳥栖市で生まれ育ち、県外  
でサラリーマンとして働いてきた岩松  
さん。4年前、転職を考えていた岩松  
さんにとって、農業は想定していな  
い選択肢でした。「正直、儲からないイ  
メージでしたが、話だけでも聞いてみ  
ようと思ったんです」。県農業振興セ  
ンターを訪ねましたが、「僕みたいに  
ノープランで相談に来る人は珍し  
かったみたいです」と笑顔で振り返り  
ます。そこで紹介されたのが、栽培を  
辞める予定のみかん園でした。「引き  
継げるみかん園があるなら、やってい  
けるかもしれない」。収穫量や単価を  
聞き、具体的に試算できたことが就農  
への後押しになりました。



通常なら3年かかる  
みかんも園地継承なら  
すぐに収穫

から教えてくれたことで、「不安はあ  
りませんでした」と力強く話します。  
力を入れているのは、糖度を高め、効  
率よく育てる工夫。「どうしたら甘く  
て美味しいみかんができるのか考  
えるのが楽しいんです」と充実した表情  
を見せる岩松さん。今日も、よりおい  
しいみか  
んを目指  
し、畑と向  
き合いま  
す。



みかん農家  
いわまつ かずたか  
岩松 和臣さん  
(鳥栖市)



### トピックス



さが園芸888運動  
サガ県園芸振興会

磨き、稼ぎ、つなげる農業

## さが園芸888運動

農家が品質向上や規模拡大など経営力を「磨  
く」ことで所得を「稼ぐ」、それを目指す新たな担  
い手が確保され、産地が活性化するといい、次  
世代に「つなげる」好循環を創出していきます。



ホームページ

### トレーニングファーム

(期間：1～2年)



研修生



トレーナー



就農希望者

独立就農